

第24回参议院議員選挙(北海道選挙区)

徳永氏・鉢呂氏当選

格差解消やTPP批准阻止で民意示す!

ゆうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東7条9丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

改憲派が2/3を

7月10日投票の第24回参议院議員選挙は、憲法改正をめざす安倍総理を支える改憲派が3分の2を占めるという結果で終わりました。この事は、今後の国会運営や平和憲法を守るという点では、大きな課題となった選挙です。

一方で、北海道選挙区は今回から2名から3名へと定



北口道議は徳永さんを全面支援(7月3日士別市での街頭演説)

「がん対策議員の会」発足 北口道議は幹事長に就任

日本人は、2人に1人がガンにかかり、3人に1人がガンで死亡。また、道民の死因第1位がガンとなっています。

この度、道議会の全議員100人(7月8日現在)が参加する「がん対策北海道議会議員の会」が発足し、北海道のガン対策を進めることになりました。

道議会の保健福祉委員長として「がん対策議員の会」設立に奔走した北口道議は、幹事長に就任しました。

ガン対策を進めるには、患者、医療者、行政、議会、企業、メディアの6者の連携が必要であり、道議会の議員の会の結成で、より期待が高まっています。

選挙戦は、大変厳しい闘いとなりましたが、徳永氏

が55万9996票を獲得し2位で当選。また鉢呂氏は、49万1129票で自民党新人を8441票上回り3位に滑り込みました。このように、3名区で2名の当選は、全国的にも高く評価されます。一方で、この結果の背景には、アベノミクスによる格差の拡大やTPP合意による不安などがあるものと思われ、今後しっかりとした対応が求められます。

数が拡大され、民進党は複数擁立を確認。すでに公認を決定していた現職の徳永エリ氏とともに、元衆議院議員の鉢呂吉雄氏を擁立して闘うことになりました。

市町村名	徳永	鉢呂	長谷川	柿木	森	他5候補	計
旭川市	36,060	27,713	35,885	26,064	15,330	7,819	148,871
士別市	3,993	1,546	2,085	1,919	548	320	10,411
名寄市	4,679	1,882	4,550	2,666	690	655	15,122
富良野市	3,062	1,498	2,093	2,319	718	414	10,104
鷹栖町	960	729	828	540	243	129	3,429
東神楽町	1,343	979	1,225	701	354	196	4,798
当麻町	765	832	730	624	340	195	3,486
比布町	554	399	468	368	204	99	2,092
愛別町	420	387	500	308	85	67	1,767
上川町	752	402	425	362	183	77	2,201
東川町	986	739	971	644	543	253	4,136
美瑛町	1,469	1,049	1,195	911	485	307	5,416
上富良野町	923	655	2,255	969	263	211	5,276
中富良野町	539	407	1,191	372	161	108	2,778
南富良野町	445	251	312	284	79	136	1,507
占冠村	319	62	113	127	33	30	684
和寒町	586	451	548	401	133	103	2,222
剣淵町	744	338	391	221	107	67	1,868
下川町	612	278	492	436	66	156	2,040
美深町	698	497	687	486	132	166	2,666
音威子府村	229	77	119	35	26	14	500
中川町	320	134	203	309	22	57	1,045
幌加内町	202	149	203	290	69	49	962
上川計	60,660	41,454	57,469	41,356	20,814	11,628	233,381
全道計	559,996	491,129	648,269	482,688	239,564	123,800	2,545,446

第2回定例道議会報告(6月21日~7月8日)

2回定例道議会は、6月21日(火)に開会、道補正予算、北海道国民健康保険運営協議会条例や「指定生産者団体制度の存続を求める意見書」、「平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書」などを可決し、7月8日(金)に閉会し

ました。

困惑する自治体

安倍総理が、アベノミクスの行き詰まりから参議選の直前になって、消費税増税の再延期を言い出すなど、暴走する国政に自治体も国民も翻弄されています。

今定例会では、

消費税再延期混乱以外にも、道内空港の民営化、保育施設での保育士代替の特例など、現場での議論がないまま、政府から一方的に押し込まれる施策に、道が右往左往している状況が明らかになりました。

消費税増税の再先送りによって、社会保障政策や地方財政への影

響が懸念されていますが、知事は、アベノミクスの破たんを認めず、影響の回避は国が対処すべきとの主体性を欠く答弁に終始しました。

空港民営化、保育での特例についても、道の判断、道の姿勢が見えず、国の施策押しつけを丸呑みし、地域、道民に丸投げするような答弁が続きました。

国追隨のTPP

農業者を中心に不安や懸念が広がるTPPについて、会派が批准に反対姿勢を示すべきと求めたのに対し知事は、国の対策大綱は道の提言を全面的に取り入れたものとの趣旨の答弁を繰り返し、国に従い地域を切り捨てると言わんばかりの姿勢を示したのです。

飲酒運転で陳謝

また、飲酒運転根絶条例で決められた飲酒運転根絶の日(7月13日)を前にして、警察官による飲酒運転

での当て逃げ事件、道職員や教員の酒気帯び運転での検挙、事情聴取などが相次ぎ、会派の代表格質問で、知事、警察本部長、教育長が揃って陳謝するという事態が発生しました。根絶の日は、2年前小樽で飲酒運転によって4人の死傷事故が発生した日です。議員も含め、あらためて根絶への決意を込め、取り組んでいかなければなりません。

補正予算は、一般会計29億3300万円、特別会計20000万円。これで、平成28年度の北海道の予算規模は、一般会計2兆8276億円、特別会計6284億円の合計3兆4560億円となりました。

採択された決議・意見書

◆2026年冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の北海道招致に関する決議 ◆バンングラデシュ・ダツカにおける襲撃テロ事件等に関する決議 ●指定生産者団体制度の存続を求

める意見書 ●「全国規模の総合的なアイヌ政策の根幹となる新たな法律」の制定に向けた早期検討を求める意見書 ●地方財政の充実・強化を求める意見書 ●平成28年度北海道最低賃金改正等に関する意見書 ●米軍人・軍属等による事件・事故に対する綱紀粛正と再発防止等に関する意見書 ●保育士の処遇改善、保育所整備等の促進を求める意見書 ●後期高齢者医療制度の保険料軽減特例措置の継続等を求める意見書 ●東日本震災の被災者への住宅支援等に関する意見書 ●給付型奨学金制度の早期創設を求める意見書 ●遠洋航海中の実習生の投票機会の確保を求める意見書 ●義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保 ●拡充を求める意見書 ●私学助成制度に係る財源措置の充実強化に関する意見書 ●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書 ●道路の整備に関する意見書

写真で振り返る北口道議の活動記録(4月〜6月)



池部彰南富良野町長当選報告会(4月19日)



佐藤芳治上川町長第一声(4月5日)

平成28年度士別地区森林組合通常総会



士別森林組合通常総会(4月28日)



士別消費者協会定期総会(4月18日)



苫小牧市の(株)ヨシダを視察(5月13日)



旭川地区メーデー行進(5月1日)



択捉島でロシア人家庭を訪問(5月29日)



北斗市での北海道植樹祭(5月15日)



天塩岳山開き(6月5日)



旭岳を登山(5月3日)

下川山岳会のピヤシリ山登山(4月29日)



北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋して紹介します。(4月～6月分)

◆4月2日【いきわつ比布駅】

▼今日はいいお天気に恵まれ、雪解けも一気に進んだような気がする▼そんな陽気に誘われ、新築された比布駅を訪問してきた。旧比布駅は、1934(昭和9)年に建てられ、老朽化が著しいことから、JR北海道は大幅に縮小した駅舎の建設を予定しようとした。それを聞きつけた比布町が6



新たな憩いの場となる比布駅

800万円をかけ、町民の憩いの場を兼ねた駅舎を建設し、この1日からオープンしたのだ▼新築の木造の駅舎は木の香りに包まれ、管理を委託された地元企業の「リリカ」が焼きたてのパンを提供し、コーヒーなどを飲みながら世間話もできるなど、町民の新たな憩いの場となっている。私の隣でコーヒーを飲んでいた女性も、「比布にこんな場所ができて嬉しいです。みんなで盛りあげなきゃね」と語ってくれた。

◆5月24日【意見書要請&追悼式】

▼今日は、6月議会に向けた意見書採択の要請行動を行い、夕方からは上富良野町で泥流被災90周年の追悼式に参列してきた▼今後開催される6月議会に向け、厳しい自治体財政を受け、「地方財政の充実・強化を求める意見書」について、当麻町議会、東川町議会、中富良野町議会、上富良野町議会に対し、採択を求める要請行動を行ってきた。それ



泥流被災90周年追悼式で献花

そのの議会で、議長もしくは事務局長に対応をいただき、「各委員会でも議論し、しっかりと対応していく」とのお話をいただいたところだ▼また、上富良野町では大正15年5月24日、突然十勝岳が大噴火し、残雪が泥流となってマチに押し寄せ、137名の命と730haの田畑を一瞬で飲みこんだ。今日は、その大正の大噴火から90年の節目となることから、上富良野町が主催しての追悼式が行われたのだ。全員で献花後あいさつに立った向山町長は、「今日、犠牲となられた皆さんを追悼し、災害に強いまちづくりを進めていく」と誓い合ひ、

約30年に一度といわれる噴火に対応する決意が語られたところだ。

◆6月17日【沖縄での記者会見】

▼沖縄訪問2日目の午前には沖縄県議会を訪問。喜納昌春沖縄県議会議長と懇談、基地問題や経済対策などについて意見交換をさせていただいた。その後、平成4年に新築された沖縄県議



地方議員アピールについて記者会見

会庁舎を視察。沖縄県は、復帰前まで琉球政府としての役割を担っていたため、議員には個室の控室が与えられており、新築時にもその考えが引き継がれている▼午後からは、佐藤栄佐久元福島県知事や上田文雄前札幌市長、そして私も発起人

に名を連ねている「地方自治とのわけ沖縄の地方自治と民主主義実現を求める全国地方議員共同アピール」についての取り組みに対する記者会見を行い、各放送記者からは、アピールの目的やその後の取り組みなどについて質問を受け、8月まで取り組みを進めると答えたところだ。

【つづき】

▼参議選の結果が出た。改憲勢力が3分の2を占めたことは、とても心配であり、しっかりと対応が求められる▼そのような中、北海道で2議席を獲得したことは賞賛に値するだろう。各市町村の投票結果を見ると、農家のTPPに対する懸念や怒りが見えてくる。TPP合意に対する農家の怒りはさらに高まっているとみることが正しいのだろう▼9月から臨時国会が開催される見込みだ。TPPの批准についても議論がされるだろう。TPPによって、日本の農業がどうなり、どう変わっていくかなど、しっかりと議論を進めてほしいものがあり、そう願っているのは私だけではないはずだ。

(つづき)